

保育コンシェルジュ通信

No.3



令和8年9月7日

三田市 保育振興課

日中は夏と変わらない暑い日が続きますが、日が落ちるのが少しずつ早くなってきましたね。

残暑をどう楽しもうかな？と考えるこの頃です♪

今回は天神にある三田保育所取材してきました。



三田保育所

園庭でトマトやキュウリなど、育てています。水やりをしているところです



ピアノに合わせて体を動かします♪



夏はプール遊び♪



寒天で感触あそび♪

園での様子

3歳児クラスでは、「かき氷」の制作をしているところでした。「氷」の部分はティッシュをビリビリ〜と楽しみながら細かくちぎり、好きな色の絵の具をスポイドで色付けして、おいしそうなかき氷を見せてくれました♪

またお部屋の中で「遠足ごっこ」「キャンプごっこ」をよくしているそうです。こどもたちが作ったテントや川で、魚釣りをして楽しむ姿が印象的でした。



育児担当制

乳児クラスでは育児担当制を取り入れており、家庭的な雰囲気の中、愛着関係を育みます。

ゆったりと関わり、急がずこどものペースを大切にしています。朝から夕方まで長い時間をこどもたちが安心して過ごせる空間づくりをしています。

1歳児クラスの給食の様子♪



所長 関灘 綾先生のお話

三田保育所では、こども一人一人の個性を大切にして、こどもたちの成長を支えていけるように先生たちがゆったりと関わっています。

一方的に保育するのではなく、こどもの興味・関心や「やりたい!」「やってみたい!」という気持ちを大切に、こどもたちが主体となる遊びを展開できるように保育を進めています。

・三田保育所・

住所:天神 2 丁目3番3号

電話:564-2418

HP





園見学のポイント！



9月から来年度の入所のしおり、申請書の配布が始まりました。

希望の園を選ぶ上で園の見学はかせません！今回は園見学のポイントをお伝えします。

どんな預け方をしたい？

各園によって保育時間、延長時間、休園日などが異なります。特に認定こども園の休園日に関しては、気象警報発令時、行事の代休日、お盆時期、インフルエンザなどの病気で休む子が多くなると学級閉鎖があるなど各園によって対応が異なるので見学時にしっかりご確認ください。



保育所、小規模保育、認定こども園の違い

保育園は日中働く保護者に代わって保育を行うという「児童福祉施設」です。朝から夕方遅くまで過ごすこどもにとってはまさにおうちの代わりになる場所です。小規模保育は0～2歳児までの少人数(定員19名以下)で家庭保育に近い雰囲気で行う施設です。

認定こども園は「教育と保育」のどちらも大切にします。幼稚園のような教育を受けつつ、保育園のような長時間のお預かりが可能です。

園の雰囲気&方針



定員数や入所年齢、建物を含めた環境、園の方針、取り組む活動なども各園によって異なります。「のびのびと自由に遊べる園がいい！」「しっかり教育してくれる園がいい！」「放課後に習い事もできる園がいい！」など入園から卒園までお子さんが園で過ごす様子をイメージしながら見学してください。

毎日の送迎をイメージして

- ☐ 毎日の準備物(オムツの定額利用の有無、お布団の準備など)
- ☐ 送迎にかかる時間
- ☐ 連絡ツール(アプリ、連絡帳など)
- ☐ 急なお迎え対応
- ☐ 駐車場、駐輪場、ベビーカー置き場



保育料以外にかかる費用

- ☐ 給食費(3歳児以上)
- ☐ 制服代
- ☐ 入園受入準備金
- ☐ 教育充実費、保護者会費など



その他

- ☐ 保護者会の有無
- ☐ 地域とのかかわり
- ☐ 小学校との連携
- ☐ 発達がゆっくりなこどもに対する対応



R9年度4月入所の申し込みが10月から始まります。申請を予定している方はそれまでに見学を終えていると安心ですね。

保育振興課には保育コンシェルジュが2名いて、保育施設入所に関わるご相談業務を行っています。

お電話、窓口、オンライン、子育て支援施設でお気軽にご相談ください♪



お問い合わせ

三田市 こども未来部 保育振興課

☎079-559-5073